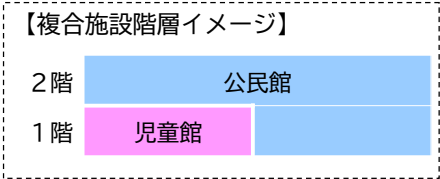


グループワークにおける前提条件

資料3（別紙）

- 複合施設の建物の条件
 - 施設の規模は延床面積1,800㎡を目安に検討を行います。また、各機能の規模は、現光が丘公民館、市内の児童館の平均的な規模を目安に検討を行います。
 - 最高高さ制限（10m）を考慮し、総2階建てで検討します。
 - 児童館機能は用途制限により600㎡以下とします。
- 複合施設の階層配置
 - 児童館機能は、用途制限やグラウンドとの連携を図るため、1階に配置します。
 - 公民館機能は、児童館機能を除いた1階と2階に配置します。



新築棟の主な諸室

機能	主な諸室名	主な用途等
公民館	大会議室	各種会議などに利用。放送室の撤去や可動式ステージの配置等により、有効面積の拡大を図ります。また、防音性能を向上し、鏡を設置します。
	小会議室	少人数の打ち合わせや学習活動に利用。現状と同程度の面積を確保します。
	コミュニティ室	会議や音楽活動などに利用。現状と同程度の面積を確保し、防音性能を向上します。
	多目的室	会議やダンス、体操などに利用（下足）。防音性能を向上し、鏡を設置します。
	料理実習室	調理活動や、子ども食堂の事業などの場として利用。調理台は現状どおり壁付けとすることや、フリースペースと可動式間仕切りで仕切ることにより、多目的な利用に配慮します。
	和室	畳が必要な活動に利用（下足）。現状の茶室と同程度の面積を確保します。
	滞在型図書室	学習や読書ができるスペース、読み聞かせコーナー等を備え、居心地よく感じられる場を確保します。
	事務室	公民館、地区連、社協職員の執務室とします。
	保育室	公民館利用者の子どもを保育するための部屋（読み聞かせとの連携を考慮する一方で状況により独立できるなど、柔軟な対応に配慮）

新築棟の主な諸室

機能	主な諸室名	主な用途等
児童館	遊戯室	児童等の遊戯スペース
	遊戯室（乳幼児コーナー）	乳幼児遊戯室として配置（遊戯室との間は可動式間仕切りを設置し、児童館開館中の専用利用にも配慮）
	図書コーナー	遊戯室に近接して配置し、館内で閲覧する幼児書、児童書等を配架
	防音遊戯室	日中は思いっきり大声を出すことができる遊戯室として利用し、夜間は地域オーケストラ等の音楽活動の場として専用貸出しを実施します。
	事務室	児童館職員の執務室
	トイレ	児童用トイレ及び多目的トイレを設置します。
機能	主な諸室名	主な用途等
共用部	フリースペース	予約なしでの簡単な打合せや、料理実習室に隣接した箇所は子ども食堂でのランチスペースなどに利用できるスペースとします。また、児童が予約なしで勉強や読書などに使うことができるスペースとしても利用します。
	トイレ	大人用トイレ及び多目的トイレを各階に配置します。
	倉庫、収納	公民館備品等の倉庫を各階に配置します。
	給湯、授乳室	子どもの利用が増えることが想定されるため、授乳室を設置します。（給湯は一般利用可能）